

2021年 4月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

○ 4月 4日 (日) イースター集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)

司会：武井 陽一

聖書講話：使徒言行録 2章22～24節

「神はこのイエスを復活させられた」 水戸 潔

感話会：(イースターを迎えて、1人5分程度の感話)

感話会后、昼食の弁当を頂きます(～12時半)。参加者は 溝口春江まで申し込みください。

○ 4月 11日 (日) (アクト研修交流センター36セミナー室)

司会：溝口 春江 感話：伊藤 純子

聖書講話：イザヤ書 48章

「私はあなたを練った 苦しみの炉であなたを試みた」 武井 陽一

○ 4月 25日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)

司会：大屋 智代

聖書講話：マタイによる福音書 6章5～15節

「主イエスの祈り」 堀澤 六郎

・・・通 信・・・

聖なる愛

竹内 英子

カラカラに乾いた砂漠に 豊かな水が流れると
美しいサフランが咲くように 聖なる愛に出会った時
固く閉ざされた心が やわらかに開きます

枯れた草木が春の陽(ひ)ざしに
青々と萌えいつるように 聖なる愛に出会った時
死んだ生命が 新しく甦えります

苦難のこの世に愛が贈られ 愛が輝き 愛の生命が輝くことは
何とすばらしいことでしょう 何と慰めに満ちたことでしょう

1982年3・4月 『復活』第189号

十字架の血によるパプテスマ —宗教改革の原点—

溝口 正

私に鮮烈に啓示された真理は、キリストの洗礼とは十字架の血による洗礼であるとのことであつた。この洗礼は、人の手を介した水による洗礼ではなく、まさにキリストが御自身の生命を捨てて十字架の血によってなし給う直接の洗礼である。これは私にとって大発見であり、まさしく天啓であつた。無教会キリスト者は、礼典としての水によるパプテスマは受けていないが、主イエスのパプテスマ、すなわち、十字架の血によるパプテスマを受けて彼の死に合わせられなければならない。そこではじめて古い人間に死に、キリストの復活に合わせられて新しいキリスト者としてよみがえるのである。かくて罪のゆるしと聖霊とすべての賜物とが豊かにそそがれるのである。無教会が宗教改革の徹底という使命を帯びているとすれば、十字架の血によるキリストの洗礼をじかに受けて死んで生かされるところに、その原点があるのではあるまいか。…

1982年8月 『復活』第193号